

ホ ッ ケ ー

専門委員長 福 井 健 持



令和2年度12月に行われた、全国選抜では一回戦から全国強豪校である飯能南高校と対戦しました。0対6で一回戦敗退でした。結果からみると力の差を感じるかもしれませんが、前半は

互角の戦いで序盤、同点のチャンスがゴールポストにはじかれるなど、どちらが勝っていてもおかしくありませんでした。コロナで十分な活動ができず、悩み苦しんだ3年生が、1人もやめることなく高校ホッケーをやりきることができました。

令和3年度もコロナの影響を受けながらの活動となりました。4月には県外遠征に行くことができたのですが、4月末からGWに予定していた全ての遠征が中止になりました。3年生のモチベーションの維持が困難な状況でした。

6月県総体では男子では阿南光高校が7-0で富岡西高校に勝利し四国選手権大会に出場しました。四国選手権大会ではコロナの影響を受けました。3チームリーグ戦が1日で開催されました。猛暑のなかハードスケジュールな大会になりました。第1試合を3-4で香川中央高校に競り負け、連戦での伊予高校に1-4で敗北し全国の切符を逃しました。

女子は阿南光高校が四国大会に初出場しました。3年間一人でチームを支えてきたキャプテンは在学期間に2度目の公式戦となりました。3年前に女子部を発足し部員集めからスタートでした。メンバーが集まらず単独チームでの出場ができず、県選抜チームとしての少女女子の活動は国体が中止され、成果発表の機会を奪われま

した。他の運動部から参加を募り60分間戦い抜きました。試合に出場できたことを幸せに感じました。

今年も国体が中止となり、8月地元開催が予定されていた国体ブロック予選も3日前直前に中止になりました。努力すればするほど目標を失ったときの喪失感が大きいと感じました。富岡西高校・阿波西高校の3年生女子部員は公式戦に出場できずに引退することになりました。3年間での公式戦の出場は1名を除き高校1年次の国体予選のみとなりましたが、3年間の部活動が今後の人生の糧となってくれればと願っています。

10月の県選抜大会では9-0で阿南光高校が富岡西高校に勝利しました。3年生が現役続行の阿南光が新体制の富岡西高校を押し切りました。富岡西高校の3年生は進路の取り組みが忙しい中、後輩のために走りました。

11月の四国選抜ホッケー大会では、女子は一回戦で阿南光が松山中央と準決勝で対戦し0-1と惜敗でした。創部から3年で部員は8名ではありましたが、素晴らしい試合をすることができました。参加してくれた他の運動部員も6月に続いて2度目の出場で力をつけてくれています。今後は楽しみです。男子では、準決勝で阿南光が香川中央を5-3で下し全国大会出場を決めました。続く決勝戦では伊予高校に1-6のスコアで準優勝に終わりました。6月の敗戦からここまで、コロナで思うような活動ができないなか、チーム一丸となり戦うことができました。参加したメンバーにとって大きな意味のある大会になりました。

最後に四国インターハイホッケー競技を来年に控えているにも関わらず、2年間コロナの影響を受け続けてきました。今後もどうなっていくかはわかりません。

しかし、思うような活動ができなかったとしても、社会で愛される人・チームづくりを根幹においた活動を継続していきたい。

◎全国高校選抜大会 令 2. 12. 23 ~ 27
於 岐阜県 川崎重工ホッケースタジアム

<男子>

1回戦

阿南光 0 - 6 飯能南

◎徳島県高校選抜大会 令 3. 10. 10
於 阿南光高校ホッケー場

<男子>

決勝戦

阿南光 9 - 0 富岡西

◎徳島県高校総体 令 3. 6. 6
於 阿南光高校ホッケー場

<男子>

決勝戦

阿南光 7 - 0 富岡西

◎四国高校選抜大会 令 3. 11. 13・14
於 秦山公園土佐山田スタジアム

<男子>

準決勝戦

阿南光 5 - 3 香川中央

決勝戦

阿南光 0 - 6 伊予

◎四国高校選手権 令 3. 6. 15・16
於 湊山公園土佐山田スタジアム

<男子>

阿南光 3 - 4 香川中央

阿南光 1 - 4 伊予

<女子>

阿南光 0 - 13 松山南

阿南光 0 - 20 高松東